

# 第8回あっけら寒

地域のつながりを感じながら、心あたたまるひと時を過ごしませんか?

# ▲パフォーマンス

10:00 オープニング演奏 桜台小ジュニア・バンドクラブの皆さ

6

11:15 角谷 隆さんによるギター弾き語り 13:00 サロン デ サンスイ 篠崎 裕康さん ル。当日は関係団体の皆様にも多数ご協

🧵 模擬店

🏅遊びコーナー

いか焼き・肉まん パン・コーヒー

ジュース・ビールなど

スーパーボールすくい

無料体験コーナー

すてきなおもちゃや世界に一つだけの絵本が手 作りできます。

平成29年12月10日(日)

★場所 介護老人保健施設ケアハイツいたみ ●伊丹市中野西1-141

10:00~14:00 雨天決行



あっけら寒ニバルは、イベントを通じ

今年で8回目を迎えるあっけら寒ニバ

ぜひ、お誘い合わせの上、ケアハイツ

へお越し下さい。職員一同、皆様のご来

て法人の魅力を発信していくことを目的

とした事業団の地域交流イベントです。

力頂き、模擬店も出店します。

、場を心よりお待ちしております。

## 第2回经清摄的人儿儿一意成孤俊 問題いたしました!

平成29年10月3日・4日・6日の3日間で、生活援助ヘルパー養成研修を開講いたしまし た。

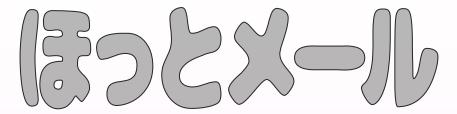
前回「家事があるので5時までの研修の参加は難しい」というご意見をいただいたのを受け、 今回は9時40分から13時30分のプログラムで開講することとなりました。

3日間の研修後、お申込み頂いた23名全ての方に修了証を発行することができました。 修了証を受け取っていただいた方は、伊丹市で「生活援助ヘルパー」として、基準緩和型の サービスを実施する事業所で働いていただくことが出来ます。

当法人でも、資格を取得された皆様のご登録をお待ちしておりますので、ご興味がおありの はぜひお問い合わせください。

修了者の皆様の地域福祉現場におけるご活躍をお祈り申し上げます。

# ~事業団だより~





社会福祉法人伊丹市社会福祉事業団 〒664-0014 伊丹市広畑3-1 いたみいきいきプラザ3階 電話 072-784-9987 ホームページアドレス http://jigyoudan-itami-hyogo.jp/

ほっと事業報告	平成28年度決算報告	P2~3
ほっと情報①	あっけら寒二バルを開催します!	P5
ほっと情報②	生活援助ヘルパー養成研修を実施しました	P4

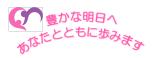


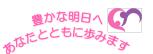


【介護職員初任者研修車イス実習】

今年度8月から開講しております介 護職員初任者研修ですが、実技科目の 演習が始まっています。

爽やかな秋晴れの中、作業療法士の 指導を受けながら段差の昇降の練習を しました。そのほか、ベッド介助等の 実技と、施設・訪問同行の実習といっ たカリキュラムを終え、資格取得まで あと少しです。





事業運営の公益性や透明性を担保するため

平成28年度事業の取り組み

# 経営組織の構築へ取り組みました

国の動向

国においては、福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るための社会福祉法人制度改革につ いて、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めるとともに、介護 人材の確保を推進するため、社会福祉法等の一部を改正する法律を平成28年3月31日に公布 し、平成29年4月1日に全面施行することとしました。

伊丹市の動向

伊丹市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう支援する「地 域包括ケアシステム」の構築に引き続き、介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた準 備等が進められました。

公益性や透 明性の担保

①新たな制度に則って定款を変更し、議決機関としての評議員会、執行機関としての理事会、さら には、諮問機関としての運営協議会を設置しました。

持続的な経営 基盤の確立

②中長期経営計画(平成28年度~平成37年度)の基本計画とあわせ、具体の事業展開を図るた め、第1次実施計画(平成28年度~平成30年度)を策定しました。

介護予防•日 常生活支援事 業の実施準備

③事業団の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、訪問介護事業所 等が連携し、地域の方々や利用者の皆様に新たな事業を活用いただけるよう、介護人材を確保し、 円滑な事業の開始に向けた取り組みを進めました。

施設整備

④者人ホームやケアハイツいたみ等の入所施設において施設の安全対策として防犯カメラ等を設置 し、防犯体制の強化を図るとともに、ご利用者様にも職員にも安全で安心な「抱えない介護」の実 践に取り組み、介護ロボットやリフト等の福祉機器を導入しました。

⑤ケアハイツいたみにおいて水道設備等の大規模改修を実施しました。

⑥老人ホームにて建替え等も視野に入れ施設整備の調査・研究に着手しました。

⑦訪問看護ステーションにて療養通所介護事業の拡充への具体的な検討を開始しました。

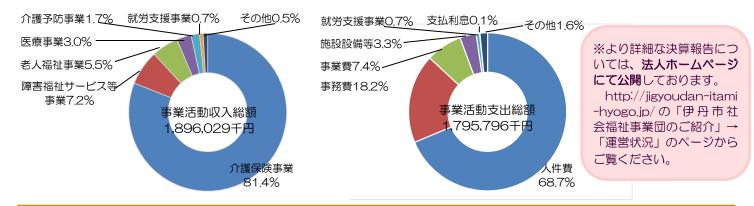
地域への 情報発信

⑧それぞれの事業所が連携しながら事業団の専門性を活かし、地域の方々や福祉活動団体、学校等 に向けて福祉制度や介護技術の紹介、介護予防の重要性の啓発等に積極的に取り組みました。

⑨東有岡ワークハウスにおいて、地域の障がい者の就労支援環境の向上を図るため、市内の社会福 祉法人とともに「いたみ障がい者共同受注ネットワーク」の本格的な運営を開始しました。

これらの取り組み の結果

平成28年度決算は収入総額が1,905,441千円、支出総額が1,888,393千円、 資金収支差額が17、048千円となりました。



平成28年度決算監査結果については、平成29年5月26日(金)に開催しました監事監査にて監事の「適正 に運営されている」との意見とともに報告がなされ、理事会より承認されました。人材の不足や建物設備の老朽 化、介護報酬の減額等、今後も事業団を取り巻く経営環境はさらに厳しさが増していくことが予測されますが、 引き続き中長期経営計画に基づき経営の安定化に取り組み、社会福祉法人制度改革の趣旨を踏まえ、地域に必要 とされる質の高いサービスを提供することにより、地域社会に貢献してまいります。

### (平成29年3月31日現在) 資金収支計算書の要旨

				(単位:1円)
	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事	事業活動収入	2, 076, 839	1, 896, 029	180, 810
事業活動	事業活動支出	1, 933, 483	1, 795, 796	137, 687
動	事業活動資金収支差額	143, 356	100, 233	43, 123
施	施設整備等補助金収入	6, 427	6, 447	△ 20
設整備等	施設整備等支出	67, 380	63, 218	4, 162
	施設整備等資金収支差額	△ 60, 953	△ 56,771	△ 4, 182
その他の	その他の活動収入	139, 007	2, 964	136, 043
	その他の活動支出	211, 855	29, 378	182, 477
	その他の活動資金収支差額	△ 72,848	△ 26, 414	△46, 434
予備費支出		1,000	0	1,000
当期資金収支差額合計		8, 555	17, 048	△7, 493
	·			

前期末支払資金残高	460, 034	460, 034	0
当期末支払資金残高	468, 589	477, 082	△ 8,493

次产・ 台售の内部

## 事業活動計算書の要旨 (平成29年3月31日現在)

当在唐沖質 前在唐沖質 増減

)		勘定科目	当年度決算 (A)	削年度次昇 (B)	増減 (A) — (B)
0	サ	サービス活動収益計	1, 892, 008	1, 915, 842	△23, 834
7	活ー動ビ	サービス活動費用計	1, 881, 073	1, 881, 098	△25
3	ス	サービス活動増減差額	10, 935	34, 744	△ 23,809
	オービ	サービス活動外収益計	4,021	5, 206	△ 1,185
С	動ビ	サービス活動外費用計	6, 950	1, 243	5, 707
2	外ス	サービス活動外増減差額	△ 2,929	3, 964	△ 6,893
	経常均	曽減差額	8,006	38, 708	△ 30,702
2	特	特別収益計	6, 969	857	6, 112
3	別増減	特別費用計	6, 527	0	6, 527
7	減 特別増減差額		442	857	△ 415
1	税引削	前当期活動増減差額	8, 448	39, 565	△ 31, 117
4	法人税、住民税及び事業税		0	0	0
)	法人税等調整額		0	0	0
	当期清	舌動増減差額	8, 448	39, 565	△ 31, 117
3		前期繰越活動増減差額	422, 988	423, 673	△ 685
	繰越活動増減	当期末繰越活動増減差額	431, 436	463, 238	△ 31,802
	活	基本金取崩額	0	0	0
С	動	その他の積立金取崩額	0	39, 750	△ 39,750
3	減	その他の積立金積立額	0	80,000	△ 80,000
		次期繰越活動増減差額	431, 436	422, 988	8, 448

## 賃借対照表の要旨

(平成29年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部				負債及び純資産の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	624, 485	597, 726	26, 759	流動負債	209, 862	184, 408	25, 454
固定資産	2, 148, 955	2, 132, 504	16, 451	固定負債	385, 850	371, 440	14, 410
				負債の部合計	595, 712	555, 848	39, 864
				基本金	804, 975	804, 975	0
				国庫補助金等特別積立金	241, 857	246, 960	△5, 103
				その他の積立金	699, 460	699, 460	0
				次期繰越活動増減差額	431, 436	422, 987	8, 449
				(うち当期活動増減差額)	8, 449	39, 565	△ 31, 116
				純資産の部合計	2, 177, 728	2, 174, 382	3, 346
資産の部合計	2, 773, 440	2, 730, 230	43, 210	負債及び純資産の部合計	2, 773, 440	2, 730, 230	43, 210

財産日録の要旨	(平成29年3月31日現在)	(単位:千円)

答在・ 角信の内部

<b>資座・</b> 負債の内訳		金額	<b>資座・</b> 負債の内訳	金領
I 資産の部			Ⅱ 負債の部	
1. 流動資産			1. 流動負債	
(1) 現金預金		328, 725	(1) 事業未払金	78, 137
(2) 有価証券		38	(2) 1年以内返済予定設備資金借入金	4, 140
(3) 事業未収金		285, 792	(3) 1年以内返済予定リース債務	2, 069
(4) 未収金		5, 611	(4) 未払費用	38, 398
(5) 未収補助金		0	(5)預り金	453
(6) 貯蔵品		640	(6)職員預り金	30, 415
(7) 立替金		1, 236	(7) 賞与引当金	56, 250
(8) 前払金		102		
(9) 前払費用		1, 745		
(10) 仮払金		595		
流動	的資産合計	624, 484	流動負債合計	209, 862
1. 固定資産			2. 固定負債	
(1) 基本財産			(1) 設備資金借入金	54, 165
建物		560, 580	(2) リース債務	5, 575
定期預金		3,000	(3)退職給付引当金	325, 910
基本	以財産合計	563, 580	(4)長期預り金	200
(2) その他の固定資産		1, 585, 376		
固定	三資産合計	2, 148, 956	固定負債合計	385, 849
	資産合計	2, 773, 440	負債合計	595, 712
			差引純資産	2, 177, 728